

「STOP！転倒災害」PROJECT

職場のための安全表示



あらゆる職場で起こりうる『転倒災害』の防止のために

厚生労働省の発表するところ「転倒事故を原因とする4日以上休業災害による死傷者数」は昨今、労働災害の中で最も多い割合を占めるようになり、その件数も増加の傾向にあります。

第三次産業も含めたあらゆる業種において、転倒災害はふとした不注意から容易に起こりうるものでありながら、重傷・死亡などの深刻な結果につながることも少なくなく、全ての職場においてそのリスクが理解され、対策を講じることが昨今の課題です。

もっとも、誰もが望んで転倒するのではなく、「それなりの注意」程度ならば既に実践済であるとすれば、単にあらためて「転倒注意」と掲示するだけでは果たして根本的な改善を期待できるとは思えません。リスクアセスメントや危険予知の観点から見れば、リスクそのものを物理的に排除し緩和する事はもちろん、具体的に「何をどのようにして、気を付けるべきか」を再認識し、禁止事項や指示事項を明示することで行動につなげてゆく必要があります。

私共は「STOP！転倒災害プロジェクト 2015」の趣旨に賛同し、「標識・サイン」というアプローチから労働安全の向上に寄与できるサインプレートをご案内します。

なくそう/転倒災害
転ばぬ先の足元対策 10

- 1 床も通路も「整理・整頓・清掃・清掃」
- 2 めれた床・つまづく障害「すぐ」対処
- 3 階段は「両手をふさがず」「一歩ずつ」
- 4 走らずに、足取りしっかり「安全歩行」
- 5 見ている・見えない・見えない方向へ進まない
- 6 「ながら」をやめよ「もしも」に備えよ
- 7 足元がはっきり見える「明るさ確保」
- 8 作業と体に適した靴を、正しく着用
- 9 その場所は、のらない・ふまない・またがない
- 10 気持ちの整理、体の不調も事故まねく

防止しよう！
荷降ろし・倉庫作業の 転倒災害

1. 整理整頓で安全作業。足元に物を置かないこと！
2. 周囲や足元が見えない様な荷物を置かない。
3. 走らないこと！ 台車も人も、急には止まれない。
4. 引っぱる
5. 引っぱる
6. 不安
7. また
8. 転ば

転倒事故に注意！
階段の昇降は正しく安全に

「手すり」を使って安全確保
走らず、急がず「一歩ずつ」
両手を荷物でふさがない
「ながら」歩きをしない事

めれた床・滑る箇所
スリップ・転倒注意

- ◆走らない、足元・周囲に注意しよう。
- ◆危険箇所や禁止箇所を歩かない。
- ◆その場に適した靴を正しく着用。
- ◆両手は常に「もしも」に備えよう。

足元に段差あり
つまずきや踏み外しによる
転倒事故に注意して下さい

階段は走らないこと
転倒・転落事故の危険は、
自分だけでなく他の人も
巻き込む可能性が高い。

昇降時は「手すり」を
もって「一歩ずつ」
荷物で両手がふさがった状態や
「段滑り」での昇降は危険！

はじり・脚立は
「三脚支持」で安全昇降
荷物や道具を持ったままでの
昇降は転落・転倒の危険あり

安全・識別・効率化に貢献する「表示力」

<http://www.ishiimark.com>

〒530-0053 大阪市北区末広町2番38号
TEL 06-6314-1410 / FAX 06-6314-2502

株式会社 石井マーク®

◆全業種用 安全標語表示板

製造現場からサービス業、デスクワークに至るまで、全ての職場に起こりうる転倒災害。危険作業を伴わない業種では、ともすれば軽視されがちなりリスクが、深刻な負傷事故につながる事が多々あります。

まずは行動の改善を習慣づけるために、**判りやすい10の安全標語**をご用意しました。

なくそう！転倒災害 転ばぬ先の足元対策 10

- 1 床も通路も「整理・整頓・清掃・清潔」
- 2 ぬれた床・つまづく障害「すぐ」対処
- 3 階段は「両手をふさがず」「一歩ずつ」
- 4 走らずに、足取りしっかり「安全歩行」
- 5 見ていない・見えない向きへ進まない
- 6 「ながら」をやめよ「もしも」に備えよ
- 7 足元がはっきり見える「明るさ確保」
- 8 作業と体に適した靴を、正しく着用
- 9 その場所は、のらない・ふまない・またがない
- 10 気持ちの散漫、体の不調も事故まねく

「TRP-AT10L」

(材質)
硬質塩ビ製プレート

(サイズ)
W300×H400×t1.0 mm

※「基本心得」のみを記した表示ですので、特定の業務や場所による個別の安全対策には次頁以降の標識等も併せてお使い分けください。

- ◆作業別転倒災害 安全行動標識 ...P.2
- ◆階段昇降用安全標識 ...P.3
- ◆床用マットの正しい使用に関する注意表示板 ...P.3
- ◆危険予知および危険箇所表示用 安全標識板 ...P.4
- ◆危険箇所表示用 短冊型標識板 ...P.5
- ◆危険予知活動・危険予知トレーニング用紙と安全用品ほか ...P.6

◆作業別転倒災害 安全行動標識

作業の特性ごとに起こりやすい事故の原因に注視した、安全行動標識板です。

重量物や不安定な足場、すべりやすい床などに伴う潜在的な転倒リスクの高い業種は多くあります。これが大きな二次災害につながる危険性を認識し、作業者の安全意識を高めましょう。

荷役作業・倉庫作業などに

重量物と共に移動を繰り返す事の多い作業は、転倒が転落・衝突・はさまれのほか、運搬車両との接触事故にも発展します。スーパーや販売店倉庫での作業でも運搬時の転倒リスクを軽視すべきではありません。

防止しよう！ 荷降ろし・倉庫作業の 転倒災害

1. 整理整頓で安全作業。足元に物を置かないこと！
2. 周囲や足元が見えない様な量の荷物を運ばない。
3. 走らないこと！ 台車も人も、急には止まれない。
4. 引っぱる・押し出す作業は、その反動も想定せよ。
5. 引っかけりなどが生じた時は、力づくでは対処せず、その原因箇所を安全な手順で直すこと。
6. 不安定な場所や物を、足場・踏み台として使わない。
7. またくな。跳び越すな。バランスの安定した歩行を。
8. 靴は不意に脱げない様、かかと潰さず・靴ひも締めよ。

「TRP-BY10L」

(材質)
硬質塩ビ製プレート

(サイズ)
W400×H300×t1.0 mm

調理・食品工場などに

火や熱湯などの高温物、刃物そのほか危険な要素の多い作業環境であり、水・洗剤、調理油などで床面がすべりやすくなっている場所もあり、転倒が重篤な災害に容易につながる可能性を重視すべきです。

防止しよう！ 食品加工・厨房作業の 転倒災害

1. スリップ・つまずきのリスクを軽視しないこと！
機械、刃物、熱湯などによる二次災害につながる。
2. 床・通路に物を置かない。空き容器等も直ちに搬出。
3. 急ぐ時でも走らずに、足元と周囲を見て移動せよ。
4. 水や油ですべる箇所には、マット設置などの対策を。
5. 作業と体のサイズに合った靴を正しく着用。
靴底に付着した水・油や汚れにも注意し、適度に除去。
6. 不安定な場所や物を、足場・踏み台として使わない。
7. 重いもの、熱いものを運ぶ際は周囲にも注意喚起の声をかけ、無理・危険のない方法と人数で行うこと。

「TRP-BY20L」

(材質)
硬質塩ビ製プレート

(サイズ)
W400×H300×t1.0 mm

◆階段昇降用安全標識

階段の昇降時も、多くの業種において共通する転倒事故が発生しやすい箇所であり、状況によっては転落・墜落のほか、重篤な二次災害の引き金にもなりかねません。

安全な階段昇降の基本を記した標識板です。階段室の出入り口や、踊り場の壁面等にご使用下さい。



「TRP-CY10L」

(材質)
硬質塩ビ製プレート

(サイズ)
W400×H300×t1.0 mm

◆床用マットの正しい使用に関する注意表示板

すべり止めマット・吸湿マットなどの各種の床用マットは、ぬれてすべりやすい箇所の歩行や靴底の水や油の除去のひとつの解決策となり、安全性や作業効率の改善に役立ちます。

ただし適切な設置や固定がされずに、めくれやすい状態または波打った状態になったものや、マット自体が床からすべりやすい状態では、逆につまずきやスリップによる転倒事故にもつながります。

床用マットを本来の役割通りに正しく管理することも災害防止の必要事項と考えます。

作業中の転倒事故を防ぐために 目的に合った「マット」を正しく使おう

スリップ防止や疲労軽減のための各種作業用マットは、目的に合ったものを正しく利用することで、安全性の向上にも大きく寄与することができます。常に適切な状態に管理して、転倒事故の防止に役立てましょう。

作業場所の用途に合ったものを正しく使い分けよう。

設置場所・作業場所ごとに異なる目的や、ぬれ具合、清掃の頻度などに応じて吸湿性のあるもの、逆に水はけの良いものなど、種類を使い分けましょう。

ズレ・めくれの生じないようにし、サイズの合ったものを。

設置場所のサイズに合わず、波打ったり端部がめくれやすい状態のマットは足をひっかけやすく、ずれてすべったりして転倒をまねく原因にもなります。

常に汚れや状態をチェックし、こまめに取り換えよう

水分や油汚れを吸い取るためのマットでも、著しく汚れたままで使用すれば逆に靴底をぬらしたり、油を付着させるスリップ原因にもなりかねません。

「TRP-DY10L」

(材質)
硬質塩ビ製プレート

(サイズ)
W400×H300×t1.0 mm

◆危険予知および危険箇所表示用 安全標識板

つまずき・スリップ・足場からの転落、階段での転倒など、危険の「見える化」のために、潜在危険源別にリスク回避のための主要な安全行動などを判りやすく明示します。作業場の入り口ドアなどにもご利用ください。使用箇所に応じ、大小2つのサイズからお選び頂けます。

TRP-ET01(L/S)～TRP-ET10(L/S) (※L/Sいずれかのサイズをお選び下さい)

(材質)
硬質塩ビ製プレート

(Lサイズ)W300×H400×t1.0 mm
(Sサイズ)W225×H300×t1.0 mm



**障害物・段差
つまずき注意**

- ◆通路や床に物を置かないこと。
- ◆整理整頓し、足元・周囲を安全に。
- ◆落ちているものは正しい場所へ。
- ◆危険な箇所は直ちに報告・改善。

TRP-ET01(L/S)



**ぬれた床・滑る箇所
スリップ・転倒注意**

- ◆走らない。足元・周囲に注意しよう。
- ◆危険箇所や禁止箇所を歩かない。
- ◆その場に適した靴を正しく着用。
- ◆両手は常に「もしも」に備えよう。

TRP-ET02(L/S)



**ぬれた床・滑る箇所
スリップ・転倒注意**

- ◆走らない。足元と周囲を常に確認。
- ◆不意にぬらした床は直ちに処置を。
- ◆正しい装備と作業手順を遵守せよ。
- ◆マットを使い、靴の裏にも注意せよ。

TRP-ET03(L/S)



**のらない!ふまない!
転倒・転落の危険あり**

上に乗ったり踏みつけたりすると転倒・転落事故、または破損による二次災害につながる危険がある。
足場が必要な場合には適切な踏み台や脚立などを正しく用いて作業すること。

TRP-ET04(L/S)



階段での転倒に注意

-  **走らない。**
両手で物を運ばない。
ながら歩きをしない。
-  **一段づつ昇り降り。**
手すりを持って安全に。
段差や他の人に注意。

TRP-ET10(L/S)

内容変更などの別注表記も1枚から承ります

◆危険箇所表示用 短冊型標識板

危険の対象箇所へ掲示しやすい短冊型の安全標識です。
幅 120 mmのコンパクトな縦長サイズですので、掲示場所を確保しやすく、複数を並列するか、または他の標識類と組み合わせて使用する事も効果的です。

TRP-FT01 ~ TRP-FT51

(材質)
硬質塩ビ製プレート

(サイズ)
W120×H360×t1.0 mm

内容変更などの別注表記も 1 枚から承ります



TRP-FT01



TRP-FT02



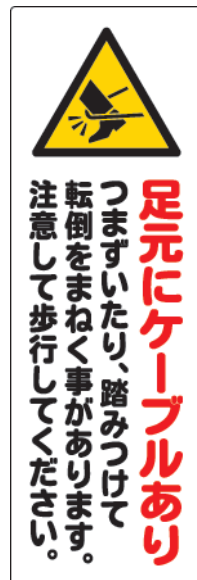
TRP-FT03



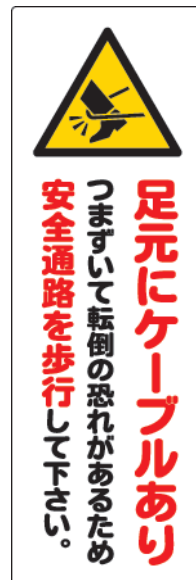
TRP-FT04



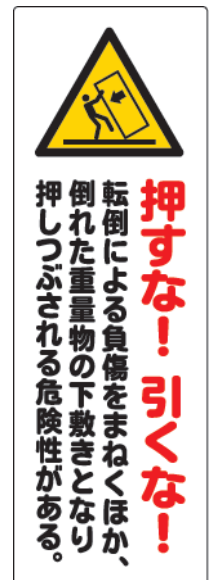
TRP-FT05



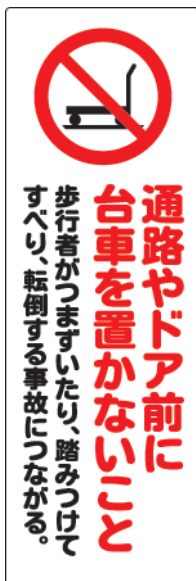
TRP-FT10



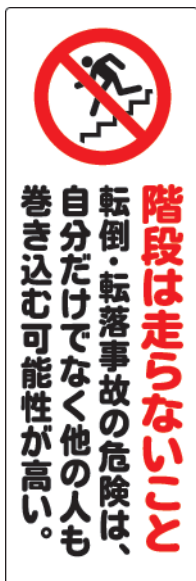
TRP-FT11



TRP-FT20



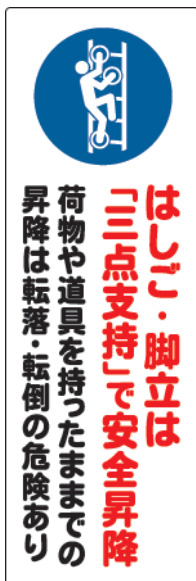
TRP-FT30



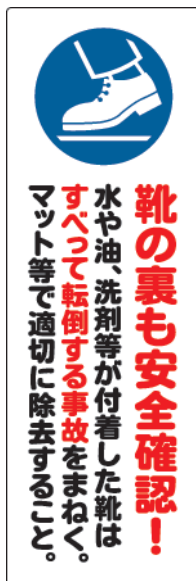
TRP-FT40



TRP-FT41



TRP-FT42



TRP-FT50



TRP-FT51

